

# 木の顔を探そう

木の表面をよく見ると、幹の模様やこぶなど、顔のように見えるものが見つかるよ。  
いろんな表情の木を見つけてみよう。



## 準備するもの

- ・特になし

## ねらい

- ・木の表面（樹皮）を観察し、一本一本個性が異なることに気づく。

## ながれ

1. 木の表面に触れたり見たりして観察する。  
顔に見える部分を見つけたら子どもたちに見せて  
「どんな表情をしているか？」  
「どんな気持ちなんだろう？」と尋ねてみる。
2. 一人ずつ探して来ようと伝えて、探してくる。  
どんな表情で、どんな気持ちなのか。  
そして、もし喋るとしたらどんな言葉を使うかも考える。
3. 見つけた木の顔について、紹介し合う。  
実際に見つけた場所に行って説明してもらっても  
良いし、スマホで撮影したものを見せ合っても良い。
4. 写真は「#leafプログラム #木の顔を探そう」でインスタにのせてみよう！



## ポイント

普段なかなか観察する機会のない樹皮を観察するきっかけになる。また、木に顔を見つける作業を通じて、木を擬人化し、気持ちを考える想像力を働かせる。

## 発展

樹皮に興味を持つ子がいたら、葉っぱの形や木の大きさとの関連に着目させる。そうすることで、木の種類や年齢によって樹皮が変化することに気づく。また、樹皮を観察する過程で、アリなどの小さい生き物やキノコなどの菌類などを見つけたら、木の友達として、その関係を調べてみるのも良い。